

2026 年度 甲南大学総合研究所「大学院生研究助成」募集要項

2026 年度に甲南大学大学院に在籍する大学院生（2026 年度に在籍する見込みの者を含む）を対象として、以下のとおり「大学院生研究助成」を募集します。

1. 助成の趣旨

この助成事業は、学際的あるいは先端的な研究に挑戦しようとする大学院生の研究チームまたは個人を対象として、研究奨励のために助成金（研究費及び研究奨励費）を交付するものです。

2. 応募資格

2-1. 研究費助成

学際的あるいは先端的な研究に挑戦しようとする意欲のある大学院生の研究チームまたは個人で、以下のすべての要件を満たしていること。

- 1) 甲南大学大学院に在籍している者。ただし、次に該当する者を除く
 - (ア) 標準修業年限超過者
 - (イ) 休学中の者
 - (ウ) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
 - (エ) 次世代研究者挑戦的プログラム (SPRING) に採択されている者
- 2) 指導教員の推薦を得られる者
- 3) 研究科間又は専攻間の交流促進を意図した研究発表会等に積極的に参加・発表する意思を有する者
- 4) 甲南大学が主催する社会貢献、高大連携、地域連携、及び産官学連携に関するイベントへ積極的に参加する意思を有する者
- 5) 国際学会での発表や留学（短期のものを含む）の経験を有する者、または今後、積極的に挑戦する意思を有する者

2-2. 研究奨励費助成

学際的あるいは先端的な研究に挑戦しようとする意欲のある博士後期課程の留学生個人で、以下のすべての要件を満たしていること。

- 1) 2026 年度に甲南大学大学院に在籍する大学院生（2026 年度に在籍する見込みの者を含む）。ただし、次に該当する者を除く
 - (ア) 標準修業年限超過者
 - (イ) 休学中の者
 - (ウ) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
 - (エ) 2025 年度以前に次世代研究者挑戦的プログラム (SPRING) に採択されている者

- 2) 指導教員の推薦を得られる者
- 3) 研究科間又は専攻間の交流促進を意図した研究発表会等に積極的に参加・発表する意思を有する者
- 4) 甲南大学が主催する社会貢献、高大連携、地域連携、及び産官学連携に関するイベントへ積極的に参加する意思を有する者

3. 助成期間及び助成金額

3-1. 研究費助成

助成期間は、2026年度の1年間に限ります。ただし、過年度の大学院生研究助成の採択者が本年度の助成に応募することは可能です。研究助成1件あたりの上限は、博士後期課程在学中のチームまたは個人については75万円、修士課程在学中のチームまたは個人については30万円とし、申請書類に基づき、総合研究所 大学院生研究助成審査委員会が助成金額を決定します。

※助成対象の費目については、採択チームまたは採択者に別途、通知します。

3-2. 研究奨励費助成

助成期間は2026年度の1年間に限ります。なお、大学院生研究助成との併給は可能です。研究奨励助成1件あたりの上限は100万円とし、申請書類に基づき、総合研究所 大学院生研究助成審査委員会が助成金額を決定します。

4. 助成期間

4-1. 研究費助成

助成金額の決定（2026年6月末頃）から2027年3月31日まで

4-2. 研究奨励費助成

2026年4月から2027年3月31日まで。ただし、研究奨励費の支給は、毎月末に12分の1ずつ行います。

5. 募集人数

研究費助成及び研究奨励費助成とも若干名

6. 応募方法・応募受付期間

募集要項を確認の上、所定の申請書類【[様式1](#)】【[様式2](#)】【[様式3](#)】に必要事項を記入し、【履歴書】を添えて期日までに甲南大学フロンティア研究推進機構事務室までメール添付で提出してください。研究費助成、研究奨励費助成の両方に応募する博士後期課程の留学生は、申請書類【[様式1](#)】【[様式2](#)】【[様式3*](#)】【履歴書】をその都度提出してください。研究奨励費助成に応募する者は、パスポートのコピーと日本国内に居住している者は住民

票の写しまたは在留カードの写しも提出してください。

* 【様式 3】は、指導教員から総合研究所に直接提出いただきますので、応募者から提出する必要はありません。

なお、研究チームで応募する場合、【様式 3】の指導教員推薦書は、応募者ごとに指導教員の推薦書を得るようにしてください。(送信先：souken@adm.konan-u.ac.jp)

【研究費助成 応募書類チェックリスト】

提出書類	提出方法	特記事項
【様式 1】研究計画書	応募者本人によるメール提出	外国人留学生は【日本国内緊急連絡先】を必ず記入してください。
【様式 2】業績リスト	応募者本人によるメール提出	
【様式 3】指導教員推薦書	指導教員から総合研究所に直接提出 ※メール送信時はファイルにパスワード設定をいただきますようお願いいたします。	
【履歴書】	応募者本人によるメール提出 ※メール送信時はファイルにパスワード設定をいただきますようお願いいたします。	

【研究奨励費助成 応募書類チェックリスト】

提出書類	提出方法	特記事項
【様式 1】研究計画書	応募者本人によるメール提出	外国人留学生は【日本国内緊急連絡先】を必ず記入してください。
【様式 2】業績リスト	応募者本人によるメール提出	
【様式 3】指導教員推薦書	指導教員から総合研究所に直接提出 ※メール送信時はファイルにパスワード設定をいただきますようお願いいたします。	
【履歴書】	応募者本人によるメール提出 ※メール送信時はファイルにパスワード設定をいただきますようお願いいたします。	
パスポートのコピー	応募者本人によるメール提出 ※メール送信時はファイルにパスワード設定をいただきますようお願いいたします。	氏名、国籍、旅券番号、顔写真、有効期限が記載されたページ、及び有効な査証のある

		場合は査証のあるページの コピー
日本国内に居住している者は住民票の写しまたは在留カードの写し	応募者本人によるメール提出 ※メール送信時はファイルにパスワード設定をいただきますようお願ひいたします。	住民票は出願開始日の 3 箇月以内に発行されたもので、続柄、国籍等及び在留資格等（在留資格、住民基本台帳法第 30 条 45 の規定区分、在留期間、在留期間の満了の日、在留カード等の番号が記載されている場合はその番号）が記載されていること。

<応募受付期間>

1) 研究費助成

2026 年 4 月 1 日（水）～2026 年 4 月 30 日（木）17 時

2) 研究奨励費助成

2026 年 1 月 12 日（月）～2026 年 1 月 19 日（月）17 時

期限を過ぎて送信された申請書類は受理しません。

7. 備考

- 1) 2026 年度に甲南大学大学院博士後期課程に在籍する見込みの者が、研究費助成、研究奨励費助成に採択された後、2026 年 4 月 1 日付けて在籍できなかった場合、当該助成は行いません。
- 2) 研究費助成、研究奨励費助成に採択された者が、研究の遂行ができなくなった、研究の遂行状況が著しく遅れている、又は休学、退学した場合、それ以降の当該助成は行いません。また、本学の指示する方法により、未執行額を返納いただくことがあります。